



短期留学参加者体験談

東国大学（韓国）

《1年 基礎課程 2025年度参加》

韓国人のバディとの交流の中で、お互いの国の文化や学校生活について話したのが印象に残っている。夏休みの長さや、文化祭の内容、韓国で主流な男女の出会い方まで教えてもらい、実際に韓国の子と話したからこそ得られた内容で、とても面白かった。また、韓国の若者の間で流行している言葉も知ることができた。韓国語の授業では、韓国人の先生が韓国語だけを使って授業をしてくださるので、単語や文法はもちろん、文化にも触れられるように先生が韓国の伝統遊びを教えてください、実際にやってみたり、韓国料理について紹介してくださり、発音やフレーズを自然に学ぶことができた。

《2年 教育学科初等教育学専攻初等教育コース 2025年度参加》

私は今まで留学した経験もなく、韓国語はKPOPが好きだから少しはできるけど、会話はできないしなどと参加の前にはとても不安でしたし、友達と一緒に参加するわけでもなかったのもとても不安でした。しかし、向こうでは韓国人のバディの子が韓国の知らない文化やスラングを教えてください、勉強になることも多く、それ以上に素敵な出会いと思い出を得ることができました。

授業は先生は私たちが理解できるようなスピードと、身振り手振りを交えて教えてください、とても分かりやすかったです。また、ただ文法を学ぶだけではなく、先生との会話を多くとって、韓国語を用いて話すことへの壁を取り払ってくださった時間でした。

授業以外に設定されたプログラムや、自由時間で現地の様々な場所に足を運ぶと、どこか日本に似た雰囲気も感じつつも、建造物などに文化の違いが見られたり、現地の人々の言葉が飛び交う中で、同じ活動班のメンバーとともに楽しい思い出をたくさん作ったりすることができたのも印象的でした。

ソウル女子大学（韓国）

《2年 国際交流学科グローバル社会コース 2024年度参加》

初めての短期留学で韓国に行き、ネイティブスピーカーの先生から韓国語を学ぶことができて語学力向上につながった。また、ソウル女子大学のプログラムでは現地のボランティアと交流する機会があり、日本と韓国の考え方や習慣の違いなどを話しながら学ぶことができた。日韓はこれまで歴史的な面から様々な課題があり、留学前は私自身も少しの偏見を持っていたが、実際に韓国へ行き現地の方々と話してみると知らなかったことや勘違いしていたことが多くあった。今回の短期留学を通して、視野を広げることができこれからも学び続けたいと考えた。

《3年 英語文化コミュニケーション学科 2024年度参加》

2週間という短い期間でしたが、とても充実した時間を過ごすことができました。特に印象的だったのはトウミという現地の学生との交流です。同世代の中での流行りや韓国語の細かいニュアンスなど韓国についてより知ることができるいい機会となりました。また、普段の授業では少人数での授業だったので質問のしやすい環境で、日を重ねるごとに韓国語の語彙力が上がったことにやりがいを感じました。

《2年人間関係学科 2023年度参加（オンライン）》

当たり前ですが韓国語のみの授業だったので、期間中はほぼ毎日韓国語を聞いていました。その影響で耳と目が慣れたのか、韓国語の動画コンテンツを見る際に字幕なしでもほぼ全て理解できるようになり、自分の成長に少し驚きました。研修校の授業はとても満足しています。質問に答えられなくても先生がしっかりと細かく解説してくださり分かりやすかったです。また先生に1対1で質問する時間もあり、授業にしっかりとついていけるようサポートしてくださりました。トウミ制度では学年が一つ上の方とマッチングしたのですが、言葉が出てこなくてもしっかりと聞いてくださり、とても親切でした。来年私が旅行に行く際にはご飯を一緒に食べようと約束してくださりました。

※トウミ制度…ソウル女子大学の学生による外国人留学生のサポート制度。

《1年 基礎課程 2023年度参加（オンライン）》

印象的だったことは、韓国人の友達（トウミ）と多くの時間、韓国語で話したことです。私はこのプログラムに参加する前は、韓国語でたくさん話すという練習をしたことがなかったので、急に韓国人の方とお話できるのか不安に思っていました。しかし、苦戦することもありましたが、話すことができ、成長を感じることができました。学んだことは、トウミを通じて、国が違っても、理解し合えるということです。トウミの友達との共通の関心事では、とても話が弾み、楽しかったです。オンライン留学でも十分勉強することができました。限られた先生や韓国人の友達としか交流できないが、その分仲良くなることができると思います。みなさん親切で、何より、韓国語で三週間話すので、韓国語を話す力がつく良い機会になると思います。

《2年教育学科初等教育学専攻幼児教育コース 2022年度参加（オンライン）》

最初は韓国語のみで話すことに緊張しどう話すべきかと緊張していましたが、担当の先生の「間違いを気にせずたくさん話してみて」という言葉を受けてからは話すことを楽しめるようになり、文法の正しさなど失敗を恐れるより積極的に挑戦しながら学んでいくことが大切だと学びました。授業内では自分の意見を話す機会が多くあったため、特に話す力が身に付いたと感じます。授業・課題を含め書く・読む・聞く・話すの4技能がバランス良く習得できる機会が設けられていました。

トウミ活動で韓国の学生とお互いの国の文化を紹介し合い、日本の習慣に驚かれたり知らなかった韓国の観光地、意外な共通点を発見したりするなど貴重な交流ができたことが印象に残っています。

《1年 基礎課程 2022年度参加（オンライン）》

渡航型とは違い、実際に会うことができない分、不安を感じる点も多いと思いますが、先生もトウミの方もとても親切で、また日本にも関心を持ってくださっている方ばかりなので、会話をしているのもとても楽しいですし、間違ったことを言ってしまった際も、こちらが諦めずに表現し続ければ理解しようとしてくださいます。また、日本にいながら海外の授業を受ける形になるため、生活環境の変化等のストレスを受けることなく、学習に集中できることが一番良かった点だと感じました。

《4年 英語英文学科 2021年度参加（オンライン）》

自分のレベルにあったクラスで学ぶことができました。同じクラスには共通の趣味を持った学生が集まったので、練習の合間の雑談を通して仲を深めることもできました。先生は三週間でより多くの勉強ができるよう授業計画を用意してくださっているので、毎回の授業で新しく習うことは多くサクサク進んでいきます。予習と復習を欠かさずにいると習熟度も自ずと上がりました。カメラを常にオンにしたまま授業を受けるので、毎日一緒に勉強しているだけでも自然と距離が近くなる気がします。

《2年 英語文化コミュニケーション学科 2021年度参加（オンライン）》

日本人の学生2人につき、ソウル女子大学の在学学生1人(コリア語ドウミ)がつき、ZOOMやSNSを使って交流する機会がありました。年齢が近いこともあり、とても話しやすかったです。普段一人ではできないリスニングやスピーキングができました。自分のレベルにあったクラス分けがあるので楽しく参加できると思います。異文化交流に興味がある方やコリア語をもっと勉強したい方にはとてもおすすめできるプログラムです。

《2年 心理学科 2019年度参加》

短期留学では、学校での授業が印象的でした。授業は全て韓国語であり、50分×4時間韓国語を学習しました。50分と短い時間ですが、集中して授業を受けることが出来ました。

また、課外活動ではチマチョゴリを着たり、遊覧船に乗ったり、ロッテワールドに行ったりと旅行では一回で出来ないことが一度に体験することが出来ました。滞在した寮のスタッフの皆さんは日本語が本当に上手で、コミュニケーションで困ることはありませんでした。先生方も優しかったです。

韓国カトリック大学（韓国）

《2年 国際交流学科 2019年度参加》

今回の短期留学で何事も貪欲にチャレンジすることの大切さを学びました。この留学では韓国語の成長を1番の目標にしていました。週5で行われる授業はほとんど韓国語で進みます。分からない部分は自ら質問し、分かる部分は先生の質問に積極的に発言することを心がけました。2週間と言う短い時間の中で目標を達成するために、授業だけでなくサポート役の方と会話をしたり、買い物に行った際は韓国語で注文したりと自分で韓国語を使う機会を増やすことを心がけました。恥ずかしさもありましたが何度も挑戦することで自分の成長に繋がりました。

《2年 国際交流学科 2019年度参加》

クラスは、韓国語のレベル別に4クラス、1日に4時間の韓国語の授業と、私の所属したクラスでは特別韓国語や歌で学ぶ韓国語、講演などを午後からのプログラムとして授業を受けました。クラス分けは、初日のレベルチェックテストと韓国語による面接で決定されるため、自分の韓国語能力に合った学習ができると思います。

正規で行われた課外活動は、MBC放送局の見学やロッテワールド、韓国料理教室での料理体験で、全員参加で行われます。光復節ロッテワールドのみ参加自由でした。移動は大学からバスで移動するため、交通の心配はなく参加できました。MBCでは放送局の歴史を学び、様々なアクティビティを体験することが出来ました。普段の旅行では体験できない貴重な体験であったと思います。料理教室では、4~5人のグループで2種類の料理を作りました。料理の先生は韓国語で説明しますが、分かりやすく教えてくださるため、ある程度の語学力があれば楽しく参加できると思います。



※写真はすべて 2019 年度参加者提供